

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2022 No.555
3 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第2回放射線診療4団体 連絡協議会開催される (Web併催)

2022年1月17日(月)、本会事務所会議室とWebを併用して第2回放射線診療4団体連絡協議会が開催されました。出席メンバー(敬称略)は、日本医学放射線学会(JRS):青木茂樹、富山憲幸、日本放射線科専門医会・医会(JCR):山田恵、大西洋、高野英行、松林(名本)路花、井田正博、日本放射線技術学会(JSRT):白石順二、奥田保男、梁川範幸、市田隆雄、JART:上田克彦、江藤芳浩、富田博信、児玉直樹でした。

今回の会議では、本年度下半期における4団体の個々の動きが報告され、JART・JSRTから話題提供のあった小児における生殖腺防護について議論されました。小児の放射線防護を除することの意義は理解されつつも、その実践には保護者(国民)への説明を慎重に検討することの重要性が再確認されました。その納得性を導くためには広報が重要ですが、

2023年度の日本医学総会の展示事業を活用することが良案である旨の意見があり、合意されました。また各団体の記念事業も同年に重なっており、加えてレントゲン博士没後100周年事業もあります。この一連の事業を全国一斉で広報に用いることが、国民に対する放射線診療の広報にも強く響くため、その方針がまとまりました。

また放射線科医と診療放射線技師の将来についても意見交換がなされ、社会環境の影響を考慮して検討する必要があることが示されました。

なお、今後の会場費用の負担については4団体の持ち回りとし、今回はJSRTが負担したので、次回はJARTとします。その後、JCR、JRSと回ることが了承されました。次回は2022年5月をめどに開催します。(副会長 富田 博信)

2021年度 第2回放射線被ばく相談員講習会 開催される (Web開催)

2022年1月29日(土)午後0時25分より、Web上で第2回放射線被ばく相談員講習会を開催しました。放射線被ばく相談員認定講習会として2回目のWeb開催でしたが、42人の定員は受講申し込み開始と同時に満席となりました。

本講習会は模擬被ばく相談を含む傾聴訓練を実施することが特徴ですが、新型コロナウイルスが感染拡大している状況下での傾聴訓練は実施が困難でした。そのような中、日本放射線カウンセリング学会はWebによる傾聴訓練の研究を行い、一定の成果が得られたため、本講習会の傾聴訓練もWebで行うことで講習会を再開することが可能となりました。なお、従来は2日間で行っていましたが、座学をeラーニング化することで今回から半日に短縮することが可能となりました。

講習会は、傾聴に関するご講義を横浜労災病院臨床心理士の塚野佳世子先生よりご指導いただきました。臨床心理士として傾聴に従事している塚野先生のご講演はとても分かりやすく、相談業務の基礎を学習することができました。

次に、6人1組に分かれて傾聴訓練を実施しました。模擬被ばく相談では、受講生が実際に経験した事例を相談者として演じることもあり、リアルな被ばく相談を模擬経験したセッションもありました。また塚野先生のご講演の直後に行うことで、傾聴を実感することができたのではないかと思います。

傾聴を重んじる放射線被ばく相談への対応が可能な放射線被ばく相談員が、全国の臨床現場で活躍し、被ばくに悩める方々の助けとなることを願います。

(放射線被ばく相談員分科会 分科会長 小松 裕司)

義務研修

あなたの 診療放射線技師免許 アップデート が必要です!!

新たな業務をつかみ撮れ。



© 横幕智裕・モリタイシ/集英社
「ラジエーションハウス」集英社 グランドジャンプにて連載中

医師の働き方改革を推進するため、医師から診療放射線技師への
タスク・シフティングにより診療放射線技師の業務が拡大されます。

あなたの診療放射線技師免許アップデートが必要です!!

画像検査のプロ集団として、国民のために診療放射線技師籍登録者全員が
受講しなければならない告示研修会（義務研修）が開催されます。



詳しくは JART 特設サイトへGo!

URL http://www.jart.jp/activity/kokujikousyuu_2021.html

令和3年度 死亡時画像診断 (Ai) 研修会 開催しています (Web開催)

2021年6月に閣議決定された「死因究明等推進計画」において、厚生労働省、日本医師会、日本診療放射線技師会ほか関係学会が、死亡時画像診断 (Ai) について引き続き連携の上、研修内容をさらに充実させることで、「死亡時画像診断を行う者の資質向上」を図ることが明記されました。

これを踏まえ、日本医師会において、死亡時画像診断 (Ai) を適切に活用していくための基礎的な知識・技能の普及を目的として、医師・診療放射線技師を対象とした「令和3年度死亡時画像診断 (Ai) 研修会」がe-ラーニング形式で開催されています。視聴期間は2021年12月6日 (月) 午前11時から2022年3月7日 (月) 午後3時までを予定しており、本会もAi認定診療放射線技師更新カウント付与の対象研修会として、日本医師会、Ai学会とこの研修会を共催しています。

この研修会は、以前は日本医師会館で対面開催されていたものですが、昨今のコロナ禍により昨年度からe-ラーニングでの開催となっています。受講料は無料です。

昨年度の研修会は100人の募集に対して開始1時間足らずで定員に達したため、本年度は定員を医師・診療放射線技師共に300人に増員して対応しましたが、それでも早々に定員に達し、会員の皆さまのAiに関する熱意が感じられました。

申し込みはすでに締め切られていますが、カリキュラムを全て受講し修了要件を満たした場合に、視聴期間中であればご自身で修了証 (PDFファイル) のダウンロードが可能です。更新予定者は期間内にダウンロードしてください。

今後も日本医師会、Ai学会と協力し、本事業を継続してまいります。 (Ai分科会 担当理事 江端 清和)

研修プログラム (全て30分)

【共通項目】

死亡時画像診断 (Ai) における基本事項	山本 正二 (Ai情報センター 代表理事)
死亡時画像診断 (Ai) に関係する病理学	桂 義久 (Ai学会 理事)
死亡時画像診断 (Ai) における画像診断① (総論)	石田 尚利 (東京大学医学部附属病院 放射線科)
死亡時画像診断 (Ai) における法令・倫理	長谷川 剛 (上尾中央総合病院 情報管理部)
死亡時画像診断 (Ai) における画像診断② (小児)	小熊 栄二 (埼玉県立小児医療センター 放射線科)
死亡時画像診断 (Ai) に関係する法医学	飯野 守男 (鳥取大学医学部 法医学分野)
死亡時画像診断 (Ai) における医療安全対策・感染対策	兼見 敏浩 (三重大学医学部附属病院 医療安全管理部)
死亡時画像診断 (Ai) における画像診断③ (経時的死後変化)	長谷川 巖 (神奈川歯科大学 社会歯科学系 法医学講座 法医学分野)
死亡時画像診断 (Ai) に関係する救急医学	伊藤 憲佐 (亀田総合病院 救命救急科)
死亡時画像診断 (Ai) における個人識別	今泉 和彦 (警察庁科学警察研究所 法科学第一部 生物第二研究室)

【医師向け】

医療事故、訴訟における死亡時画像診断 (Ai)	水沼 直樹 (東京神楽坂法律事務所 弁護士)
-------------------------	------------------------

【診療放射線技師向け】

死亡時画像診断 (Ai) におけるCTと感染対策	片岡 由美 (藤田医科大学病院 放射線部)
死亡時画像診断 (Ai) におけるMRI (US含む)	小林 智哉 (茨城県立医療大学 保健医療学部 放射線技術科学科)

会費未納による除籍者から債権の回収委託を開始致します

すでに会誌に掲載しております通り、2021年10月2日開催の2021年度第3回理事会において、未収会費の収納代行委託に関する議案が可決され、日本診療放射線技師会会費については2022年4月1日付で会費未納による除籍者より債権の回収委託を開始致します。詳細は下記にお問い合わせください。

■ 本件に関するお問い合わせ：公益社団法人日本診療放射線技師会 財務担当 江端 清和 E-mail : info@jart.or.jp

INFORMATION

第17回中四国放射線医療技術フォーラム 開催報告 (Web併催)

(第29回日本診療放射線技師会中四国診療放射線技師学術大会)
(第62回日本放射線技術学会中国・四国支部学術大会)

一般社団法人鳥取県診療放射線技師会 理事
CSFRT2021 学術委員長 増田 大

2021年12月18日(土)、日本診療放射線技師会中四国診療放射線技師会協議会と日本放射線技術学会中国・四国支部が合同で第17回中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT2021: Chugoku-Shikoku Forum for Radiological Technology 2021)を開催し、米子コンベンションセンターBIGSHIP小ホールよりライブ配信が行われました。

本来なら2020年11月7日(土)・8日(日)の会場開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。本年度も会場開催を目指して準備を進めましたが、感染状況の広がりによって、前例のないライブ配信1日+オンデマンド配信[会期: 2021年12月18日(土)から2022年1月19日(水)まで]による開催となりました。

ライブ配信は、主に以下の内容を行いました(11:00~17:40)。

1. 教育講演:
「国内外のプロサッカークラブにおける医科学を活用したコンディショニング」
静岡産業大学 スポーツ科学部教授 中西 健一郎先生



- 2. JART会長講演:
「診療放射線技師法改正と告示研修」 上田 克彦氏
- 3. JSRT代表理事講演:
「放射線技術学の可能性 ~協調と進化の先にあるもの~」
白石 順二氏
- 4. 特別講演:
「プロフェッショナル 情熱的救命医療の流儀 ~チーム医療バージョン~」
鳥取県立中央病院 院長補佐/救命救急センター・集中治療センター長 小林 誠人先生
- 5. シンポジウム:「頭部領域における放射線医療の可能性」

一般演題138題、モーニングセミナー、JART特別企画、JSRT特別企画、共催セミナーについてはオンデマンド配信を行い、参加登録者は638人でした。

ライブ配信当日は来賓として、衆議院議員 畦元将吾先生、米子市長 伊木隆司氏、鳥取県知事代理 鳥取県福祉保健部長 中西真治氏が来席されました。この他2年分の表彰者、両会関係役員、次期開催県(愛媛県)の実行委員会など約60人が会場に来席されました。これらの対応と運営を実行委員会がプログラム通りに遅延することなく行い、通信回線のトラブルもなく無事に終えることができました。

感染状況に合わせた開催方式となり対面が困難でしたが、オンデマンドならではの参加や、ゆっくり視聴できるメリットもあったと思います。

コロナ禍の経験でイベントの開催形式も大きく変わると感じます。今後も会員の参加しやすい形式で満足度の高い大会を開催したいと思います。

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、
本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

第16回九州放射線医療技術学術大会 (佐賀大会) 開催報告

(第67回九州放射線技師学術大会)

(第70回日本放射線技術学会九州支部学術大会)

大会長 北村 茂利 (佐賀大学医学部附属病院)
実行委員長 柿本 信二 (佐賀県医療センター好生館)



北村茂利大会長

2021年12月11日(土)・12日(日)、佐賀市文化会館において第16回九州放射線医療技術学術大会を開催しました。コロナ禍で大変な日々ではありましたが、会員を中心に671人にご参加いただき、大変活気のある大会になりました。大会企画を実施させていただいた大会長・

実行委員として大変うれしく、また参加いただき会を活気に盛り上げていただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学術大会やセミナーなどはWeb開催が中心でした。本大会も開催方法を常に検討しながら、最終的に対面開催と致しました。幸いにも新型コロナウイルスが落ち着いた時期に対面で開催することができ、対面ならではの緊張感や情報の伝わりやすさ、多くの参加者とのちょっとした会話など、Web開催では得られない大事なものを改めて感じることができた学術大会となりました。

佐賀大会は放射線技術の現状や課題、最先端技術をいま一度見直し、今後の医療につなげる機会となることを目指し、メインテーマに「診療放射線技師のさらなる職責」、サブテーマには「放射線技術学の温故知新」を掲げました。

1日目の特別講演では、佐賀大学医学部放射線部の中園貞彦准教授より「安全で有効な画像検査のために：診療放射線技師にお願いしたいこと」についてご講演いただきました。安全で適切な画像検査を行うために創意工夫していることや、造影剤の副作用、緊急時のシミュレーションなどについて分かりやすくご説明いただきました。安全で有効な画像検査を提供するためには放射線科医、看護師、そして診療放射線技師の協力や連携が不可欠であることも再確認することができまし

た。またシンポジウム「放射線技術のさいこう～過去から学び、次の世代へつなげる～」では、シンポジストがそれぞれの分野を代表し、現状や課題、今後の展望についての発表が行われました。実行委員企画としては、日本診療放射線技師会の上田克彦会長、日本放射線技術



実行委員企画



シンポジウム

学会の白石順二代表理事、大阪市立大学医学部附属病院の市田隆雄技師長から「新時代の診療放射線技師をめざして」をご講演いただきました。最新の情報までも得ることができる貴重な機会となり、大変充実した時間でした。

2日目は、市民公開講座として、佐賀大学医学部附属病院肝疾患センターの高橋宏和特任教授と兵庫医科大学 消化器内科教授 超音波センター長の飯島尋子教授より「あなたの肝臓 診らんばい肝～画像の力で肝がん撲滅!～」と題してご講演いただきました。従来の講義形式ではなく、斬新かつ新鮮な構成を講師に依頼しました。また実行委員も、参加者が楽しく関心が高まるような講座となるよう案を練りました。講師の医師・アナウンサーによる参加型・対話型セミナーにより、分かりやすく楽しく学ぶことができました。着ぐるみの肝臓マスコットと3D-CTを併用し、実際の検査方法がイメージしやすく、ワクワクする魅力的な講演構成だったと評価を得ました。

会員による演題発表数は口述発表117題、ポスター発表10題の、合計127題でした。

来年度の第17回九州放射線医療技術学術大会は、2022年11月19日(土)・20日(日)の両日にわたり福岡市で開催されます。福岡大会への多数のご参加をよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症が終息することを願って、第16回九州放射線医療技術学術大会の開催報告とさせていただきます。



実行委員の皆さま、お疲れさまでした。

第37回日本診療放射線技師学会 画像等手術支援分科会

3D画像作成ハンズオンセミナー 開催報告

画像等手術支援分科会 委員 平野 透

2021年11月12日(金)、第37回日本診療放射線技師学会大会において画像等手術支援分科会が主催するハンズオンセミナーを開催致しました。

CTやMRIのデータを用いた3次元画像は、近年の装置の性能向上により診断のみならず外科手術や血管内治療における手術支援に有用な画像が得られてきています。この手術支援を含めた3次元画像は、撮影から画像処理まで一元管理ができますが、疾患に合わせて適切な撮影と画像再構成ができるのは診療放射線技師のみであり、また撮影や画像処理などを振り返りながらより良い画像作成ができる環境も、診療放射線技師だから構築できると考えております。そのためにも、医師が求める臨床情報を十分に反映した3次元画像を作成する必要があり、画像等手術支援分科会では認定技師講習会や、JART会誌に連載している3Dシリーズなどの座学と、3次元画像作成のスキルを向上していただく目的として学会大会においてハンズオンセミナーの開催などの事業を行っています。

今回の学会大会においても、初・中級者を対象とした整形

外科領域・心臓血管領域・脳神経外科領域の3つのコースを午前・午後とも90分の枠(午前：整形外科領域・心臓血管領域、午後：脳神経外科領域)で行いました。

ハンズオンセミナーは2017年の函館での学会大会から開催しており、昨年はコロナ禍のため中止になりましたが、毎回多くの受講者ならびに見学者の方に参加していただいています。今回はコロナの状況が少し収まっているとはいえ、大会に参加される方も限定的と考え、セミナーの募集人数も少なめにしておりましたが、多くの受講者に参加していただきました。またセミナーの見学に来られた方も多くおり、手術支援画像作成への関心が高いことも感じました。今回、セミナーの受講者には3D画像作成方法の資料や、整形外科領域で使用する便利な機能やオパシティカーブのデータなども提供しましたので、画像作成のスキルを上げたい方にとって有意義で特典満載のセミナーだったと思っております。

次年度も学会大会において中級編の開催を計画中です。画像処理にご興味のある方、参加してみたい方はいかがでしょうか？



本会会員賠償責任保険(全員加入)の傷害保険部分 および付随するオプション保険の終了について

INFORMATION

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦
財務 江端 清和

本会が契約している賠償責任保険(全員加入)には対人・対物損害保険部分と傷害保険部分がございますが、傷害保険部分については2021年度第1回理事会において取り扱いを終了することが決定し、2022年7月1日午後4時をもって傷害保険部分と傷害保険にセット加入のオプション部分の取り扱いおよび更新が終了となります。これまで傷害保険のオプションに加入されておられた会員各位宛てには取扱保険会社・代理店を通じて同等の内容・掛け金となる代替団体保険をご案内させていただきます。

なお、対人・対物補償に関する損害保険部分については、補償内容および補償金額は変わらず保険に付随する各種サービスもそのまま継続となります。

タスク・シフト/シェアに伴う新たな業務拡大による対人・対物補償につきましても保険料据え置きで従来通り保険の対象となりますが、その際は本会告示研修を修了されていることが条件となりますことを申し添えます。

会員の皆さまにおかれましては、ご理解のほどよろしくお願い致します。

*ご不明な点は、以下の宛先までお問い合わせください。

公益社団法人日本診療放射線技師会 事務局 総務課保険担当宛て E-mail : info@jart.or.jp

レントゲン週間

イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。



FUKUI

健康フェア2021

- 日 時：2021年12月5日（日）
午前10時から午後3時まで
- 開催場所：福井県福井市花堂南2-16-1
ショッピングシティ ベル1階北コート
- 実 績：『健康フェア2021』参加者数（当日リーフレット配布者）：340人
（公社）福井県診療放射線技師会 体験イベント
超音波式骨密度測定：200人
スタッフ5人

（公社）福井県診療放射線技師会では、2009年より福井市保健計画「健康ふくい21」の推進事業に賛同し、県内の20施設以上の医療団体と共催し福井市民の健康づくりのため『健康フェア』を開催しています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、今年は福井県内での感染状況が落ち着いたため、ショッピングシティ ベルで行われました。テーマは「コロナ禍の今こそ！健康力アップ」でした。

福井県診療放射線技師会では毎年、頸動脈エコーなどの測定を行ってきました。しかし、ソーシャルディスタンスの問題もあり、今回は超音波式の骨密度測定を行うことにしました。

10時の開場とともに多数の市民の方々が訪れ、狭



い会場はすぐにいっぱいになりました。整理券を配布し長蛇の列にならないように調整しながらの骨密度測定は、なかなか忙しくて大変でした。しかし、測定結果をお知らせすると、実際の年齢より若い数値が出て喜ばれる方、また自分の結果が実年齢より高く出てショックを受けた方などさまざまでした。今後の生活習慣や定期的な測定の大切さなどをお話しすることができて、とても有意義でした。今回のようなイベントで市民の方々の健康意識を高める機会になればと思います。

コロナ禍のため各種健康イベントが中止される中、レントゲン週間のイベントとして幅広い年齢層の市民の方と交流することができて、とても楽しい一日でした。また診療放射線技師という職業もアピールすることができました。

（公益社団法人福井県診療放射線技師会

広報組織調査委員会 理事 田中 弘一）



第4回 第38回日本診療放射線技師学術大会に向けて

兵庫への道 (神戸から全国へ) ~BE KOBE~

公益社団法人兵庫県放射線技師会
淡路支部長 藤田 達也



淡路ビーフ会員証



淡路ビーフ証明書

INFORMATION

淡路島の食と神話

今回は、私が所属する淡路島について紹介したいと思います。

淡路島は兵庫県の南端に位置しており、明石海峡大橋を経て北から淡路市・洲本市・南あわじ市の順となっております。古くから「御食国 (みけつくに)」と呼ばれ、四季折々おいしいものがたくさんあります。

春は生シラス。シラスは体長2~3cmのイワシの稚魚で、水揚げをしてから数時間で鮮度が落ちる痛みやすい魚のため、釜揚げや天日干しをして食することが多いです。しかし、淡路市岩屋地域での漁師・加工業者・料理人の創意工夫により生で食することが可能となり、「生シラス丼」として提供されています。

夏は鱧 (ハモ)。兵庫県はハモの漁獲量が全国1位 (2006年度 農林水産省 海面漁業生産統計調査より)。その中でも淡路島産のハモは小顔で身が引き締まり、そのほとんどがメスです。「はも延縄 (はえなわ)」と呼ばれる漁法で一匹一匹丁寧に釣られるため傷が少なく、金色の魚体をしていることから「べっぴん鱧」や「黄金鱧」とも呼ばれています。ハモは生命力が強く、保冷手段の乏しい時代から生きてそのまま京都・大阪に届けられていました。京都の祇園祭や大阪の天神祭でも古くから食されています。

秋は淡路ビーフ。淡路産但馬牛の中でも厳しい認定基準 (霜降りの度合い、可食部分の割合、枝肉重量、月齢など) を満たしたものが淡路ビーフと呼ばれます。年間200頭ほどしか流通していないためなかなか出会うことは難しいかもしれませんが、「淡路ビーフ取扱認定証」のあるお店で探してみてもいいかもしれません。

冬は3年とらふぐ。南あわじ市の福良湾で養殖が行われています。潮の流れが速い鳴門海峡の近くで身が締まり味は濃厚です。一般に2年ほどで出荷される養殖フグですが、さらにもう1年育てることで倍近くに成長します。

淡路島は国生み神話ゆかりの地として知られています。淡路市にある伊弉諾 (いざなぎ) 神宮はイザナギ・イザナミの二柱をお祀りする神社で、古事記、日本書紀に記載がある神社の中で最も古い神社です。境内にはイザナギ・イザナミの二神が宿る御神木として、夫婦円満・安産子授・縁結びなどのご利益があると信仰されている樹齢約900年の夫婦大楠があります。南あわじ市にあるおのころ島神社は、国生み神話に登場するおのころ島伝承地の一つとされています。古事記、日本書紀によればイザナギ・イザナミの二神が天の沼矛 (あめのぬぼこ・あめのぬぼこ) により海を混ぜると、矛よりしたたる潮が凝り固まって自凝島 (おのころとう) となったといわれています。二神はまずこの島に降り立ち、淡路島、次に大八州 (おおやしま: 日本の異称) をお創りになったとされています。高さ21.7mの大鳥居は日本三大大鳥居に数えられており、一見の価値ありです。

まだまだ紹介しきれませんが、他にもさまざまな新スポットもたくさんありますので、大会会場からはちょっと距離がありますが、ぜひお時間に余裕がある方はいらしてください。

最後になりましたが、学術大会が開催されるころには気軽にお出掛けできる世界になっていることを願ひまして、締め言葉とさせていただきます。



伊弉諾神宮 夫婦大楠



おのころ島神社



おのころ島神社 大鳥居



伊弉諾神宮 中門

引用・転載元

- ・淡路島観光ガイド (awajishima-kanko.jp)
- ・伊弉諾神宮 (https://izanagi-jingu.jp/)
- ・おのころ島神社 (https://www.freedom.ne.jp/onokoro/)
- ・淡路畜産農業協同組合連合会 (www.awaji-katikutiba.or.jp/)
- ・アワタビ 淡路島 鱧 (はも) 料理おすすめ13選 (www.kankouawaji.com/)
- ・南あわじ市 (www.city.minamiawaji.hyogo.jp/)

第38回

日本診療放射線技師学術大会

38th Japan Conference of Radiological Technologists

会期 2022年9月16日(金) — 18日(日)

会場 神戸コンベンションセンター [ハイブリッド開催]

会長 上田 克彦 公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

大会長 後藤 吉弘 公益社団法人 兵庫県放射線技師会会長

タスク・シフト/シェアに伴う
業務拡大を推進しよう

革新の挑戦



主催/公益社団法人日本診療放射線技師会 共催/公益社団法人兵庫県放射線技師会
後援(予定)/厚生労働省 日本放射線技術学会 兵庫県 神戸市 神戸新聞社

〈運営事務局〉
公益社団法人 兵庫県放射線技師会
神戸市中央区元町通5-2-3-1011 TEL.078-351-5172

この春に思う

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

ソメイヨシノの開花の便りとともに、桜前線の北上により日本列島が桜色に染まる季節を迎えた。パッと咲きパッと散るさまを見て「日本の美意識ここにあり」「わが人生もこうありがたい」などといった耳目を集める春の風物詩であるが、実は葉桜となった後、夏から秋にはすでに次の花芽を作り始めるという。いったん冬を迎えて休眠状態となり、その後、厳冬の低温に晒されることで休眠していた花芽が再び目覚め、気温の上昇とともに新しい春に一齐に開花するという「休眠打破」のメカニズムだ。桜にこのような神秘ともいべき自然の力が隠されていることに、感動と畏敬の念を禁じ得ない。

他方、「春眠不_レ覺_レ曉」という有名な漢詩があるが、春の明け方は心地よい眠りで、夜が明けたのも気付かず知らず知らずのうちに寝過ごしてしまったという一節。心地よい春の情景と、多忙な日々の中にも春を惜しむ情感が表現された名句とされる。朝寝坊をってしまったときに思わず発してしまうフレーズでもあるが、季節を愛でる感性は、自然のメカニズムや心情

を映し出す金言として人々に暗示や示唆を与えてくれる、と感じるのは私だけだろうか。

診療放射線技師という職種が、撮影から治療という広範囲の業務が許されている中で、ともすれば勤務先や勤務形態によっては包括的な知識や技術の継続が厳しい状況が生じる。そんな時、「休眠打破」ともいべき法律改正やそれに伴う講習会・研修会というプログラムは、休眠していた脳や体に新しい息吹を吹き込み、再び知識やスキルを呼び覚ます糧となるのではないか。

今春、新型コロナウイルス感染症の拡大により遅れが生じていた医師のタスク・シフト/シェアに伴う「厚生労働省告示第273号研修(告示研修)」がようやく開始された。折からのオミクロン株のまん延により、今後も頓挫を余儀なくされる面が心配されるが、全国展開される告示研修について一人でも多くの診療放射線技師が受講されることを望み、「春眠不_レ覺_レ曉」とならないようにと思うこの春である。(文責:高嶋 敏光)

3月・4月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ 告示研修(基礎研修): Web開催 2021年7月31日(土)から【e-ラーニング形式】

※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」「診療放射線技師基礎技術講習」「告示研修(実技研修)」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程: www.jart.jp/activity/lifelong_study/2021_schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程: www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt000007170.html
- 「告示研修(実技研修)」開催日程: www.jart.jp/activity/lifelong_study/kokuji_schedule_2021.html

JART電子ブックシステムの試験運用の開始について

INFORMATION

将来的なJART会誌の電子化を見据え、電子ブックシステムの試験運用を11月7日(日)より開始しております。

会員の皆さまには下記URLまたは2次元バーコードより「JART電子ブックシステム」にログインしていただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。

なお、パスワードは3カ月ごとに変更されます。今後、パスワード更新時には会誌でご案内致します。

■ ログインURL: <https://www.jartbook.jp/jart/login.html>

■ ログインID/パスワード: 会誌参照



JART電子ブックシステムのログイン画面

事務所
案内

執務時間: 月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。